

「伊丹市交通事業経営戦略」の進捗状況等の公表について

投資・財政計画に対する令和2年度の実績を報告いたします。

1. 収益的収支

(単位:千円)

区 分		年 度		計画	決算	増減額
		計	算			
経 常 収 支	経 常 収 益	営 業 収 益		2,090,093	1,676,356	△ 413,737
		営 業 外 収 益		281,279	564,557	283,278
		収 入 計		2,371,372	2,240,913	△ 130,459
	経 常 費 用	営 業 費 用		2,416,944	2,304,502	△ 112,442
		営 業 外 費 用		8,362	438	△ 7,924
		支 出 計		2,425,306	2,304,940	△ 120,366
特 別 損 失			3,960		△ 3,960	
単 年 度 純 利 益			△ 57,894	△ 64,027	△ 6,133	
累 積 欠 損 金			△ 410,075	△ 465,481	△ 55,406	
年 度 末 資 金 過 不 足 額 ※			1,261,770	1,470,041	208,271	

※年度末資金過不足額＝流動資産－（流動負債－翌年度償還予定企業債元金）

○ 経常収益

(1) 営業収益

収益の根幹である乗合旅客運賃収入が新型コロナウイルス感染症の影響により前年度比較で約4億円の減収となったことから、計画に比して4億1,373万7千円の減少となりました。

(2) 営業外収益

新型コロナウイルス感染症の影響による減収対策として、一般会計から3億円の補助金を繰入れたことから、計画に比して2億8,327万8千円の減少となりました。

○ 経常費用

(1) 営業費用

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減に伴い、減便ダイヤでの運行を行ったことで、人件費が約8,800万円の減となったことや、燃料費が軽油使用量の減や単価減により予定を約2,200万円下回ったこと等により、合計では計画に比して1億1,244万2千円の減少となりました。

(2) 営業外費用

支払利息が予定を下回ったこと等により、合計では計画に比して792万4千円の減少となりました。

○ 単年度純利益

計画の5,789万4千円に対し、決算は6,402万7千円となり、ほぼ計画通りとなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で収益は大きく落ち込みましたが、一般会計から3億円の財政支援もあり、結果的には計画を若干下回る程度の赤字額となりました。

2. 資本的収支

(単位:千円)

区 分		年 度	計 画	決 算	増 減 額
資 本 的 収 入			162,100	501,198	339,098
資 本 的 支 出			315,575	121,781	△ 193,794
収 支 差 引 額			△ 153,475	379,417	532,892
補てん財源	消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額		16,991	—	△ 16,991
	損 益 勘 定 留 保 資 金		136,484	—	△ 136,484

○ 資本的収入

計画していた乗合車両の更新を見送ったことで企業債借入による収入約1億3,000万円が減となった一方、財務基盤強化を図るため、一般会計から計画に計上していなかった5億円の出資金を受け入れたことから、差引3億3,909万8千円の増となりました。

○ 資本的支出

計画していた乗合車両6両の更新の見送り、ドライブレコーダー更新事業の1年先送り等により、建設改良費が減となったことから、計画に比して1億9,379万4千円の減少となりました。